

[今月の詩編]

第73篇

神はイスラエルに対して

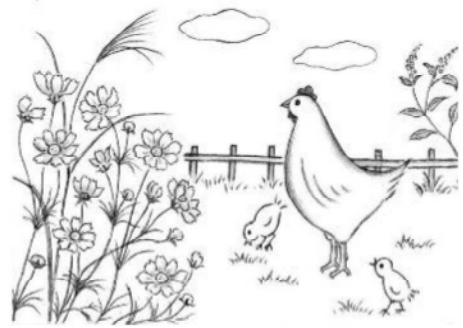
心の清い人に対して、恵み深い。

## 何故疑ったのか

夕方に主イエスと別れ、舟に乗って向こう岸へ出発した弟子たちでしたが、波風に悩まされて、まだ湖の向こう岸へ着くことができず、夜明けまで湖の上を漂っていました。広い湖、夜の真っ暗闇に、波風が立つ。そんな中、夜明け頃、水の上を歩いて自分たちのほうに向かってくる人がいました。弟子たちはそれを見て、怯え「幽霊だ」と叫びました。主でした。そして「安心なさい。わたしだ。恐れることはない」と語られました。すると、弟子のペテロが「主よ。あなたでしたら、私に命じて、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言うのです。「来なさい」と言われて、舟から降りて歩き出したペテロ。しかし強い風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫び、主はすぐに手を伸ばしてつかんで「なぜ疑ったのか」とお叱りになったのです。

「来なさい」と言われ、怖がらず、舟から湖の上に降りたのです。それで水の上に立ったのです。そのこと自体、驚くべき信仰ではないでしょうか。主のことばを信頼して「歩けた」のです。これは他の弟子たちには見られない主への信頼であるとは思いますが、主はそのペテロのご自身への信頼を「よい」と認めておられません。強い風を見て、沈みかけたことに対し「なぜ疑ったのか」とお叱りになったのです。主は人にご自身への「完全な信頼」を求めておられるようです。人は神、キリストと全幅の信頼関係が本来のあり方であって、人はその時に安らぎと平安の中に生きられます。

神は最初から強い風がないようにもおおきになるお方です。弟子たちが遭った境遇を見ますと、舟が転覆しない程度、しかし前に進むことには困難で、非常に悩まされる境遇でした。一つ覚えたいことは、神さまは人をそのような境遇にもおかれるお方だということです。そして雀一羽も神のお許しがなければ、地に落ちることはなく、髪の毛一本残らず、すべて数えておられるお方です。弟子たちの舟に吹い



てきた風の向き、強さ、量もすべて神の御手の中にもありました。

少し別の観点ですが、もしペテロに強い風が吹いてこなかったら、彼は最後まで主イエスのところに歩いて行けたでしょう。そうであったら、彼は「薄い」と言われた自分の状態に気づかず、強い風の時に、強い風に振り回されてしまうような自分自身にも気づかなかっただしょう。それどころか、かえって彼は自惚れていたかもしれません。水の上を歩けたのですから。御心を測り知ることはできませんが、強い風が彼には必要だったのではないのでしょうか。少し歩き出したところでちょうど吹いてきたのです。時になかったことと思わされます。

主がペテロと舟に乗られると、風は静まりました。重力も、湖も、波風も、すべてこの方の力に服従し、逆らわないのです。ところが、「なぜ怖がるのか」と力強く語られる主が無力にも十字架につけられて死ぬのです。神は十字架から助けてくださいませんでした。御心だったからです。

主イエスは十字架に至るまでご自身を神に委ね、従順でした。完全な信頼です。人のために受ける困難、人の代わりに受ける苦しみ、その神の御心にご自分の身を委ねられたのです。激しい苦しみした後、ご自身に続く信仰の子孫を見ることで満足する御子を神は死んだままにはしておかれず、蘇らせられました。人が一生、死の恐怖の中に生きることから自由にし、生きるにしても死ぬにしても怖がらず、唯々全能者を信頼し、身を委ねていきるようにと信仰の道を示してくださったのです。

真っ暗な、嵐のような時にも目を上げ、全能者を仰いでいきましょう。何一つ偶然はありません。私の信仰のためにあり、私の不信仰を壊すためにあります。自惚れることもない、御前に純粋な信仰を得させるためにあります。なお、人のために神から与えられる困難も引き受ける主イエスにある信仰を得て生きるよう、努めていきたいと願います。

(マタイ 14・13～21)

## 《 今日の礼拝 》

2021年9月12日(日)

一回礼拝(9:30より)

司 式 宮間 彰広 兄

聖餐司式 黄 允湜 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

○ 前 奏 「神よ、その恵みによりて我を」 J.G.ガアルター

○ 讃 美 58番(1、3、5節)

○ 十 戒

○ 告白の祈り

○ 奉 献 頌

○ 使徒信条

○ 牧会の祈り

○ 主の祈り

○ 聖書朗読 マタイ15章1～20節(新約P.29)

○ 説 教 「神からのものか、確かめよ」

黄 允湜 牧師

○ 讃美歌 334番(1、4節)

○ 聖 餐 「ファーガ」 L.N.クレラボー

○ 報 告

○ 頌 栄

○ 派遣の言葉

○ 祝 福

○ 後 奏 「協奏曲ト長調より「第3楽章」J.S.バッハ

## 《 今日のお知らせ 》

○ 8月より朝9時半からの一回礼拝としています。インターネット配信での礼拝ご参加をお願いします。

○ これまで配信してきました「子どものための聖書メッセージ」を、今日から前奏、使徒信条、祈り、主の祈り、祝福、後奏を加えた「子ども礼拝」として配信いたします。配信開始は9時からです。

○ 正午より、中島富子さんのご主人、清さんの葬式を礼拝堂で執り行います。インターネットを通してご参加することができます。

## 《 子ども礼拝 》

● 9月12日(日)朝9時～HPにて配信

タイトル 「エリヤとやもめの家」

聖 書 列王記上17章1～16節

メッセージ 宮間 彰広 兄



## 《 説教塾より 》

毎年9月に説教塾への献金をお願いしています。今年も掲示板にポスターを掲示し、事務所のカウンターに献金袋を置きました。礼拝に出られるようになってからでも結構ですので、ぜひ献金をお願いします。説教塾も集まることは難しい状況ですが、オンラインでの学び会は盛んに行われています。

## 《 次週の礼拝 》

一回礼拝(午前9時30分)

讃美歌 55番 280番

説 教 「手を伸ばしなさい」

聖 書 マルコ3章1～6節

説教者 菊池 美穂子 副牧師

